

前回検討委員会からの整理

～ 目 次 ～

1. 第4回検討委員会コメントサマリー

○パブコメ案に関する主なコメント

- ・ 今回の計画は西新宿のエリアの回遊性を高める最初の起爆剤となり、この取組が周りに波及していくと理解しているので、「回遊」の要素が分かりやすい資料になると良い。(坂井委員)
- ・ 「「イベント会場の場」から「都民が憩える場」への転換」は、重要なキーワードであると思う。(坂井委員)
- ・ 今まで特別な機会を過ごす場所だったところから日常的な時間の場所に転換していくことや、低層部全体が多義的な空間が連続的に繋がり、回遊性を持った場所が変わっていくということをもう少し丁寧に記載した方が良い。(田中友章副会長)
- ・ 周遊・回遊という点について全体がどのように繋がっていくのか、例えば、ふれあいモールや階段に座った人が次にどこへ向かうのか等、もう少し詰める必要があると思う。(田中里沙委員)
- ・ 周辺の道路の再整備の方向性について、記載できる範囲で補足が必要。(岸井会長)
- ・ デジタル化において、Wi-Fiは必須として、都庁周辺を訪れる人との、利用前・中・後におけるデジタルコミュニケーションが重要であると思う。(田中里沙委員)
- ・ 西新宿は最先端な場所と謳っているため、もう少しデジタルに関することを書いても良いと思う。(岸井会長)
- ・ 丹下先生の考え方を整理しているが、どの部分を継承していくのかが分かると良い。建築系の方も非常に興味を持つところであると思うので、丁寧な対応が必要。(泉山委員)
- ・ 3つの視点や空間再編のポイントが併記されているが、都庁が目指すべき将来像を、どのような方針や方法で実現していくのかを明確に書いた方が良い。(田中友章副会長)
- ・ Tokyoiteというキャッチフレーズよりも、どのような考え方で再編しようとしているかという中身をしっかりと書くべき。仮にキャッチフレーズを付けるとしても、少しトーンダウンさせて書くようなことかと思う。都民のご意見を聞いてみるのも良い。(岸井会長)
- ・ 本計画は短期の概ね3年間の計画とその先の在り方を示すとあるが、どこが概ね3年間の計画で、どこが今後の在り方を示したのか、分かりやすく示せると良い。(泉山委員)
- ・ 環境改善委員会の取組では、回遊性・滞在性・防災性の実現を重要な柱としている。都庁舎再編における防災の考え方について、本計画の中に記載した方が良いのではないか。(新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事)
- ・ 都民広場は、現在は都が主催・共催・後援しないと利用できないルールになっているが、使用可能な事業範囲を拡大していくことを目指している。(財務局 庁舎運営担当部長)
- ・ Wi-Fiの整備も行っていく必要があると考えている。屋内は整備が進んでいる一方で、屋外については今後、しっかりと調査・検討をしていく必要がある。(財務局 庁舎運営担当部長)

○空間別再編計画(案)に関する主なコメント

◆4号街路沿い、都民広場・サンクンプラザ

- 4号街路から11号街路下に入る隅切りや、11号街路（高架）への階段の取り合わせ等は、縦動線（エレベーター等）の設置場所も含めて議論した方が良い。（岸井会長）
- 4号街路沿いのスロープについて、真っ直ぐな計画としているが、機能的に真っ直ぐ行けるよりは、少しずつシークエンスをたどりながら奥に入っていけると楽しい空間になる。（田中友章副会長）
- 4号街路沿いの再編計画について、現況高低差が1.8mある中、今回高低差バリアーを改善する空間に変わるということ具体的な高低差の数字を資料上で表現してもらえると分かりやすい。（新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事）
- サンクンプラザに面する店舗がテラスに対して顔出しをするのか、滞在する人が快適に感じるような仕上げをするのか、検討できると良い。また、上からも下からもよく見える吹き抜けのエッジの部分は、手を入れた方が良いと思う。（田中友章副会長）

◆ふれあいモール

- 11号街路下のように四角いラボをそのまま配置すれば良いというわけではなく、全体のトータリティを崩さないようにラボを配置しなければならぬ。今後、具体的な設計を行う際に検討できると良い。（田中友章副会長）
- ふれあいモールに人がいるイメージを持ちづらいのは、人が回遊する動線から外れていることが一つの要因だと思われ、全体の回遊性の問題と一緒に解けると良いと思う。（国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室長）

◆11号街路下

- 11号街路下について、木材を使った人間味のある優しい空間を作っていけると良い。都市基盤としてコンクリートで作られている構造体に木材を使うことで、親しみのある空間になっていくと思う。（坂井委員）
- ラボと憩いのスペースが点在する中で、このストリートがどのように生きてくるかという点は、もう少し検討が必要かと思う。（田中里沙委員）